

フットサル新拠点PR

東広島市コート 大会に県内外の400人

東広島市が昨年10月に新設した東広島運動公園フットサルコート（西条町田口）で8、9日、競技経験を問わず幅広い世代が参加できる初めての大会規模大会があった。県内外から計約400人が集い、試合やイベントを堪能。市は「県内の新たな競技拠点としてのPRにつなげたい」とする。大会は、アミューズメント施設など運営のプロバグループ（広島市安佐南区）が主催。広島市内のコートが昨年末で運



多世代のチーム同士でフットサルを楽しむ参加者たち



営終了となったため、初めて東広島市に会場を移した。年代や経験ごとの5部門で実施。J1サンフレッチェ広島元選手の森崎和幸さんも来援し、参加者とのドリブルリレーで盛り上げた。仕事仲間と出場した府中町の作業療法士「さん（30）」は「親交を深められた。車でアクセスしやすく、またみんなで使いたい」と話した。コートは屋外の人工芝3面。市が約2億7千万円をかけて整備した。平均稼働率は今年2月末時点で23・4%と、目標の30%を下回る。平日の利用が低調という。市は2025年度、8200万円をかけて照明設備を付

ける。市都市整備課は「県中央部にある立地や広い公園駐車場を生かし、プレーヤーの裾野拡大につながる環境を整えたい」とする。（教蓮孝匡）

道の駅に20店

親子で遊ぼう

西条で16日フェス

親子でマルシェやゲームを楽しめる「東広島スプリングフェス」が16日午前10時～午後4時、東広島市西条町寺家の道の駅西条のん太の酒蔵である。市観光協会の主催。竹原市の特産峠下牛が味わえるキッチンカーや子ども服の古着販売、クマのフィギュアに彩色するアート体験など約20店が出店する。市マスコットキャラクターのん太のトレーディングカードの対戦ゲーム（参加料300円）もある。

ゲームの参加者やマルシェで千円以上購入した人は、同協会の観光ガイドブック「東広島クエスト」がもらえる。西条酒蔵通り観光案内所 ☎08

2025年3月14日付
中国新聞 19面へ掲載
※転載については中国新聞社の許諾を得ています